



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 鶴弥
コード番号 5386 URL <http://www.try110.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鶴見 哲

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 杉原 隆義

TEL 0569-29-7311

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,231	6.6	748	50.6	651	102.9	340	129.6
22年3月期第3四半期	7,718	△12.8	496	40.8	320	115.4	148	942.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	43.88	—
22年3月期第3四半期	19.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	19,253	9,272	48.2	1,195.34
22年3月期	18,776	9,015	48.0	1,162.10

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,272百万円 22年3月期 9,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,509	5.8	730	41.5	609	149.2	285	198.7	36.82

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	7,767,800株	22年3月期	7,767,800株
---------------------	----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	23年3月期3Q	10,371株	22年3月期	10,196株
-----------	----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	7,757,507株	22年3月期3Q	7,757,624株
------------------	----------	------------	----------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年4月30日に発表しました通期の業績予想は、本資料において修正しております。

2. 業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、2ページ1.「当四半期の業績等に関する定性的情報」(3)「業績予想に関する定性的情報」に記載のとおり、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第 3 四半期累計期間)	6
(第 3 四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国の経済回復や国内消費刺激策、夏場の猛暑効果などにより緩やかな回復基調となりましたが、円高の進行に伴う輸出の減速や、駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みなどにより足踏み状態となり、先行き見通しは依然として厳しい状況にあります。

当業界におきましては、住宅ローン減税などの政策効果もあり、粘土瓦の需要動向を大きく左右する新設住宅着工戸数（持家）は、平成21年11月以降、前年同月比13ヶ月連続で増加しているものの、その水準自体が未だ低位にあり、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社は「粘土瓦メーカーから屋根材メーカーへの脱皮」を目指し、リフォーム市場への取組強化、粘土瓦市場でのシェア拡大、太陽光発電システム事業の開始など、営業基盤の拡大を図っております。また、平成22年10月1日には、屋根工事のプロによる「安心・安全」な施工のご提供を主目的とした、太陽光発電システム施工店ネットワーク「そらやねっと」を立ち上げ、活動をスタートさせました。

売上高につきましては、販売力強化に努め、前年同期を512百万円上回りました。損益面につきましては、前年同期に比べ燃料価格の上昇や人件費の増加はあったものの、工場稼働率の向上等により、原価率が前年同期に比べ2.2ポイント改善いたしました。それに伴い、営業外費用に含まれる工場休止に伴う諸費用が前年同期比90百万円減少しております。商品及び製品の在庫につきましては、引き続きスリム化に努め、1,263百万円に縮減いたしました（前年同期比256百万円減）。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は8,231百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益748百万円（前年同期比50.6%増）、経常利益651百万円（前年同期比102.9%増）、四半期純利益340百万円（前年同期比129.6%増）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産額は、前事業年度末に比べ476百万円増加し19,253百万円となりました。負債総額は、前事業年度末に比べ219百万円増加し9,980百万円となりました。純資産は、前事業年度末に比べ、257百万円増加し9,272百万円となり、自己資本比率は48.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて396百万円増加し1,319百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間に比べ183百万円増加し、1,102百万円となりました。

これは主に、増加要因としては、当四半期会計期間の末日が金融機関の休日にあたった影響に伴う仕入債務の増加額479百万円（前年同四半期比156百万円増）、たな卸資産の減少額178百万円（前年同四半期比381百万円減）等によるものです。減少要因としては、売上債権の増加額693百万円（前年同四半期比242百万円増）等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ28百万円減少し、53百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出48百万円（前年同四半期比35百万円減）等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間に比べ205百万円増加し、652百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出525百万円（前年同四半期比155百万円増）等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期の業績を勘案し、平成22年4月30日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成23年1月31日）別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,391,153	994,172
受取手形及び売掛金	3,157,778	2,486,740
商品及び製品	1,263,168	1,456,218
仕掛品	48,023	43,882
原材料及び貯蔵品	150,806	139,939
その他	68,680	112,018
貸倒引当金	△42,523	△63,666
流動資産合計	6,037,087	5,169,304
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,798,677	1,863,102
機械及び装置（純額）	1,267,203	1,528,596
土地	9,153,286	9,153,286
建設仮勘定	9,835	16,024
その他（純額）	402,614	435,603
有形固定資産合計	12,631,618	12,996,614
無形固定資産	18,205	15,947
投資その他の資産		
投資有価証券	212,721	247,701
その他	695,252	640,483
貸倒引当金	△341,659	△293,709
投資その他の資産合計	566,314	594,476
固定資産合計	13,216,138	13,607,037
資産合計	19,253,225	18,776,342

(単位：千円)

	当第 3 四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,087,988	1,561,601
短期借入金	1,950,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	900,000	600,000
未払法人税等	222,869	73,954
賞与引当金	43,691	145,566
その他	640,477	433,514
流動負債合計	5,845,027	7,814,637
固定負債		
長期借入金	3,390,000	1,215,000
退職給付引当金	64,874	59,149
役員退職慰労引当金	649,537	646,430
その他	31,000	26,000
固定負債合計	4,135,411	1,946,579
負債合計	9,980,438	9,761,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	4,144,714	3,881,876
自己株式	△5,766	△5,722
株主資本合計	9,250,274	8,987,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,513	27,646
評価・換算差額等合計	22,513	27,646
純資産合計	9,272,787	9,015,126
負債純資産合計	19,253,225	18,776,342

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)
売上高	7,718,868	8,231,850
売上原価	5,899,179	6,107,246
売上総利益	1,819,689	2,124,604
販売費及び一般管理費	1,323,121	1,376,601
営業利益	496,567	748,002
営業外収益		
受取利息	1,552	1,327
受取配当金	5,532	4,782
雇用調整助成金	15,572	—
その他	19,601	18,381
営業外収益合計	42,258	24,491
営業外費用		
支払利息	68,574	64,734
手形売却損	6,112	1,883
貸倒引当金繰入額	—	1,000
工場休止に伴う諸費用	143,178	53,157
その他	7	361
営業外費用合計	217,874	121,136
経常利益	320,952	651,357
特別利益		
固定資産売却益	598	192
特別利益合計	598	192
特別損失		
固定資産除売却損	1,697	6,921
投資有価証券評価損	15,562	28,590
関係会社株式評価損	6,784	—
特別損失合計	24,043	35,511
税引前四半期純利益	297,507	616,038
法人税、住民税及び事業税	12,339	247,261
法人税等調整額	136,934	28,363
法人税等合計	149,274	275,624
四半期純利益	148,232	340,414

(第 3 四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期会計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第 3 四半期会計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成22年12月31日)
売上高	2,618,262	2,898,115
売上原価	1,927,682	2,098,572
売上総利益	690,580	799,543
販売費及び一般管理費	451,595	482,528
営業利益	238,984	317,015
営業外収益		
受取利息	109	47
受取配当金	1,052	1,052
講習会収入	2,334	61
その他	6,102	4,246
営業外収益合計	9,597	5,408
営業外費用		
支払利息	21,521	20,857
手形売却損	1,190	563
工場休止に伴う諸費用	15,285	13,965
その他	0	360
営業外費用合計	37,997	35,746
経常利益	210,584	286,676
特別利益		
固定資産売却益	308	—
特別利益合計	308	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	531
投資有価証券評価損	2,160	—
特別損失合計	2,160	531
税引前四半期純利益	208,733	286,144
法人税、住民税及び事業税	6,155	71,786
法人税等調整額	91,665	48,404
法人税等合計	97,821	120,191
四半期純利益	110,912	165,953

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	297,507	616,038
減価償却費	504,098	461,784
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,926	26,806
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△132,030	△101,875
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,402	5,724
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,410	3,107
受取利息及び受取配当金	△7,084	△6,109
支払利息	68,574	64,734
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,562	28,590
関係会社株式評価損	6,784	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△451,366	△693,373
たな卸資産の増減額 (△は増加)	560,354	178,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	323,540	479,863
割引手形の増減額 (△は減少)	△246,674	—
未払費用の増減額 (△は減少)	80,874	91,680
その他	△49,371	95,328
小計	995,507	1,251,206
利息及び配当金の受取額	7,011	6,075
利息の支払額	△76,272	△64,201
法人税等の支払額	△6,826	△90,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	919,419	1,102,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,289	△48,253
有形固定資産の売却による収入	2,611	393
無形固定資産の取得による支出	—	△4,833
投資有価証券の取得による支出	△5,000	△1,900
貸付金の回収による収入	3,069	803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,608	△53,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△300,000	△3,050,000
長期借入れによる収入	300,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△370,000	△525,000
配当金の支払額	△76,666	△76,962
その他	△9	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446,675	△652,005
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	390,135	396,981
現金及び現金同等物の期首残高	757,614	922,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,147,749	1,319,153

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、陶器瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第 1 四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年 3 月27日) 及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成 20年 3 月21日) を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
J形瓦	2,129,956	102.2
F形瓦	4,635,460	123.4
M形瓦	473,613	122.9
合計	7,239,030	116.3

- (注) 1. 金額は、平均売価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期累計期間における製品及び商品の仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
製品	J形瓦	93,240
	F形瓦	273,649
	M形瓦	20,379
小計	387,269	96.0
商品	その他	395,444
合計	782,713	107.2

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 商品の「その他」は、S形瓦・いぶし瓦・副資材が主力であります。

(3) 受注状況

当社は受注見込みによる生産方式をとっておりますので、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	金額(千円)	前年同期比(%)
製品	J形瓦	2,081,088
	F形瓦	4,969,896
	M形瓦	483,868
小計	7,534,852	105.9
商品	その他	487,822
工事売上	209,175	118.4
合計	8,231,850	106.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。